

令和5年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市下北自然の家	
指定管理者	団体名	一般財団法人 むつ市教育福祉振興会
	代表者	理事長 櫻井以文
	所在地	むつ市大畑町観音堂25-1
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	1、施設の使用許可に関すること。 2、施設の利用料金の徴収に関すること。 3、食事代、クリーニング代及び教材費の徴収に関すること。 4、青少年の集団宿泊生活の指導及び助言に関すること。 5、野外活動、体育及びレクリエーションに関すること。 6、自然観察その他の自然に親しむ学習活動に関すること。 7、施設の維持、管理及び修繕に関すること。 8、施設の特性を生かした利用促進に関すること。 9、その他施設の設置目的を達成するために必要なこと。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計(A)	99,068	96,080	▲2,988
うち利用料金額	8,350	5,337	▲3,013
うち指定管理料	90,688	90,688	0
支出合計(B)	99,068	96,162	▲2,906
うち人件費	61,588	63,553	1,965
収支差(A-B)	0	▲82	▲82
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>収入</p> <p>収入合計のうち、利用料金額は年間計画額8,350千円に対して、実績額は5,337千円だった。計画に対する達成率は63.9%である。</p> <p>今年度の利用料金額(5,337千円)は、前年度(4,432千円)と比較すると、905千円増加となっている。増加の主な要因は、スポーツ少年団体等の宿泊利用である。</p> <p>支出</p> <p>支出の執行額は、年間計画額99,068千円に対して、実績額は96,162千円だった。計画に対する執行率は97.1%である。今年度は、毎月安全点検を実施し自力修繕をおこなったため軽微な支出は抑えられたが、経年による施設設備等の修繕があった。研修課の体制を4人から5人にして欠員を補充したことから、人件費は前年度実績額(60,832千円)に比べ、2,721千円増加した。</p>		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
	宿泊	1,500	795	▲705
	貸館	150	69	▲81
	食事	13,000	10,417	▲2,583
	リネン	2,500	1,239	▲1,261
	教材	2,500	2,089	▲411
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有） 主催及び自主事業参加者、受入各団体に対し利用者アンケートを実施している。また、利用団体との打ち合わせの充実を図り、団体の要望等を事前に聞き対応している。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
健康づくり「春」	49	56	45
ファミリーキャンプ	18	77	71
紅葉ハイキング	8	16	17
森林ノルディックウォーキング	2	8	12
健康づくり「秋」	15	24	22
伝統体験そば打ち①（おひとり様）	8	31	30
伝統体験そば打ち②	19	34	28
伝統体験そば打ち③	13	37	30
伝統体験としな作り①	10	19	18
伝統体験としな作り②	11	17	15
伝統体験べこもち	23	43	37
冬山ハイキング	23	38	33

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準A（優 良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適 正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評 価 項 目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	A	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	A	A
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B

③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価

<p>⑥指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、改善策も記載すること。</p> <p>今年度の利用状況は、利用団体数259団体（前年度262団体）、利用人数4,739人（前年度4,690人）、利用延べ人数6,379人（前年度6,156人）となり、前年度と比較して、利用実人数が49人増加し、利用延べ人数は223人増加した。</p> <p>経年劣化の激しい施設ではあるが、継続的な安全点検を実施し、利用者目線にたった自力修繕をおこなった。</p> <p>また、主管課と継続的な話し合いを実施し、備品等の更新を計画的に実施した。</p> <p>利用団体並びに主催事業、自主事業の際のアンケートでは、利用者満足度が高かった。このことは、施設のもつプログラムだけではなく、施設の使いやすさや食堂のメニューの充実が図られた結果とみている。</p> <p>今年度から新しい広報活動（LINE公式アカウントの開設）実施のほか、HPの内容も充実させて利用促進に努めた。今後は、CT機器導入による施設や活動の見える化を進めて、利用者の新規開拓を進めていきたい。</p>

7. 市の所管課総合評価

<p>⑦所管課は当該評価期間における総合評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、指導内容も記載すること。</p> <p>評価項目「(2) ②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。」については、新しい広報活動やHPの内容更新をおこなっており、利用アピールに繋がっていくという期待から評価をAとした。</p> <p>評価項目「(4) ②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。」については、施設における維持修繕に丁寧に対応し、柔軟な経費運用により整えたことから評価をAとした。今後も維持管理に励んで欲しい。</p> <p>利用者については、少子高齢化という変化により、こどもの減少が顕著となっていることから、ターゲット層の検討と共に、それを踏まえた事業の展開をお願いしたい。</p>
--